

OISA NEWS

OITA
INFORMATION
SERVICE INDUSTRY
ASSOCIATION

2016. 8

69

発行：大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文
<http://www.oisa.jp>
編集：広報委員会
事務局：大分市城崎町2-6-31
(大銀コンピュータサービス棟内)
TEL (097) 537-5918
FAX (097) 534-4545
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会



CONTENTS

平成28年度通常総会開催	2
会長挨拶・来賓挨拶	3
平成28年度協会活動方針	4
代表者交代・新任者紹介	5
平成28年度通常総会記念講演会	6
平成28年度研修委員会研修実施について	7
平成28年度技術研究部会実施について	7
第25回サウンズコンテストのお知らせ	8

スマートフォン対応

藤河内溪谷の
360度画像は
こちらから

360

藤河内溪谷（佐伯市）

大分県情報サービス産業協会 平成28年度通常総会開催

総会議事

- 第1号議案** 平成27年度協会活動報告および委員会事業報告
ならびに平成27年度収支決算承認の件
- 第2号議案** 平成28年度協会活動方針
および委員会事業計画決定の件
- 第3号議案** 平成28年度収支予算承認の件
- 第4号議案** その他の件



森 秀文会長 挨拶

大分県情報サービス産業協会平成28年度通常総会が、平成28年4月20日(水)全労済ソレイユにて開催されました。森会長が議長となり総会議事が執り行われ、標記第1号議案から第4号議案まで原案通りに承認されました。

引き続き、大分県商工労働部審議監 中島英司氏ならびに国立大学法人大分大学理事副学長 越智義道氏にご挨拶をいただき、その後、大分市長 佐藤樹一郎氏より「大分から活力と夢を発信～地方創世のステップアップ～」についてご講演を行っていただきました。

総会終了後は来賓の方々を交えて交流会が行われました。



中島 英司氏 挨拶



越智 義道氏 挨拶

平成27年度決算および平成28年度収支予算 収入の部

(単位:円)

科目	28年度予算額	27年度決算額	差額
入会金	0	30,000	▲ 30,000
会費	2,475,000	2,525,000	▲ 50,000
事業収入	1,374,000	1,340,000	34,000
JISA交付金	300,000	300,000	0
事業外収入	54,700	54,698	2
前年度繰越金	2,244,218	2,820,096	▲ 575,878
収入合計	6,447,918	7,069,794	▲ 621,876

平成27年度決算および平成28年度収支予算 支出の部

(単位:円)

科目	28年度予算額	27年度決算額	差額
管理費	575,000	633,572	▲ 58,572
総会費	234,000	234,184	▲ 184
事業費	4,324,000	3,957,820	366,180
予備費	0	0	0
特別予算	0	0	0
次期繰越金	1,314,918	2,244,218	▲ 929,300
支出合計	6,447,918	7,069,794	▲ 621,876

平成28年度大分県情報サービス産業協会役員

平成28年5月1日現在

OISA役職	氏名	会員名・役職
会長	森 秀文	(株)オーイーシー 代表取締役会長
副会長	小田 均	(株)富士通九州システムズ 執行役員
理事	於保 宏明	九州東芝エンジニアリング(株) 取締役社長
理事	荒城 英世	大分交通(株) 常務取締役
理事	小野 敬一	ゴードービジネスマシン(株) 代表取締役社長
理事	若杉 達也	大分NSソリューションズ(株) 常務取締役
理事	尾渡 秀成	大銀コンピュータサービス(株) 代表取締役社長
監事	高橋 敏明	(株)シーエイシー 取締役会長
監事	伊東 道郎	モバイルクリエイイト(株) 常務監査役
事務局長	眞名井龍一	(株)オーイーシー 常勤監査役

会長挨拶

会長 森 秀文

まず初めに熊本・大分地震でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りします。たくさんの方々が被災者の方々が避難生活を送っておられますことへお見舞いを申し上げますとともに一刻も早い復旧・復興を祈るばかりです。

さて、我が国の経済に与える事象は多数存在していますが、消費者の購買意欲は依然慎重であり、個人消費の回復は期待に反して足踏み状態にあると言われていいます。そのような中、大分市は100年に一度の大事業と言われます大分駅周辺総合整備事業が最終局面を迎えています。昨年春以降、美術館、駅ビルの開業、県とJRとの連携企画であるデスティネーションキャンペーンなどが行われ、4月の新聞報道をみますと上々の効果があったと発表されておりました。中心市街地も大きな変貌をとげている状況ではないかと思われまます。このような中、我が業界は経済成長のみならず経営力強化推進の重要なインフラとして位置付けられております。最近ではあらゆるものをインターネットに接続するIoTという言葉が新聞、テレビで毎日のよう

に報道されています。IoTの技術を利用して経営資源の一つとし、“モノ”の効率化を図り、効果的に活用することで業務全体の最適化に繋げることが期待されています。情報技術を適切に活用することにより業務を効率化する守りの分野はもちろんですが、業務の可視化による戦略的経営や攻めの分野にも活用して経営力強化に取り組み、成果が少しずつ上がっております。しかしながら、多くの県内企業（中小企業）においてはなかなか進みが遅いと思われまます。知識面、技術面、人材面での課題を抱えて情報技術の進展に遅れを取っているのも事実です。このような状況に対して私ども協会は課題解決に向けて支援事業を推進したり、あるいは有効な広報活動を展開するとか、あるいはIT人材育成を積極的に支援していくなど色々な事が考えられると思っております。

今年度も引き続き、皆様方のご尽力をいただきながら協会活動の一層の周知を図っていくように努めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。

来賓挨拶

大分大学理事副学長 越智 義道様

大分大学理事副学長 越智義道でございます。まず初めに4月14日から続いております一連の地震により被災された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さてこのたびは、平成28年度大分県情報サービス産業協会の通常総会にお招きいただきありがとうございます。

平成元年から平成28年に亘っての長い間、大分県下の情報サービス産業に関わる企業、団体の技術交流と相互啓発を継続されて、ますます活動を活発化されているご様子に敬服しております。技術者育成と基盤研究の機関である大学関係者として、まずは卒業生、修了生を採用いただき活躍の場を与えていただいていることに深く感謝しております。また、大学における基礎研究を社会に還元すべく共同研究などを通じてご協力、ご尽力いただき、企業の技術者の方々と学生との交流の機会をいただくなど、教育活動に対するご支援にも御礼申し上げます。

さて、皆さんの中にはご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、昨年10月より大分県下の高等教育機関が連携して地域に若者を残し定着させて、それを基に地域活性化を促進する取組、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」を行っております。これは、大分の企業の魅力を学生たちに伝え

て将来大分を牽引していく人材として育成するための教育改革を、大学と地域産業界、自治体が連携して昨年5月に設立した『大学等による「おおいた創生」推進協議会』を中心として実施する事業です。是非、大分県情報サービス産業協会会員企業の皆様におかれましても地域人材の育成の観点からご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。現在、大分大学では大胆な教育改革を断行中です。今、申しあげました「COC+事業」もその取組の一つですが、学部あるいは専攻、学科の改組も急ピッチで進めております。今春、福祉健康科学部や教職大学院などを設置いたしました。3月には文部科学省へ工学部を理工学部に変えるべく設置申請し、平成29年度から理工学部がスタートする予定です。この改組では共創理工学科の中に、従来の情報系学科であった知能情報システム工学科を引き継ぐ知能情報システムコースを設置します。更に数理科学コースを新しく設置して、より数理やロジックに強くデータ解析に長けた人材育成を行う計画です。是非、このような情報系人材の育成につきましてもご助言、ご支援を賜りますようお願いいたします。そして、教育を通じて成長した若者に皆様方の企業活動の一翼を担う一員として活躍の場を与えていただき、大分県の情報産業の力強い発展に資することができれば幸いと考えております。

平成28年度 協会活動方針

1. 関係機関、関連団体および地域との交流と連携を深め、地域の情報化を推進するとともに、協会および協会活動の一層の周知を図る。
2. 委員会活動の充実を図り、高度情報化社会に対応する魅力ある事業を推進する。
3. 会員企業の技術力の向上を図るとともに、会員相互の情報交換と啓発活動を推進する。

総務委員会

委員長 渡辺 崇敏
(朝日キャリアバンク(株)
統括マネージャー)

副委員長 永岡 禎幸
((株)九州日立システムズ 大分営業所 所長)

事務局 坂田 明
(九州東芝エンジニアリング(株) 参与)



イベント委員会

委員長 野尻 健
(大分中央電算(株)
代表取締役社長)

副委員長 中川 雅裕
((株)スリーエイ・システム 取締役)

事務局 大熊 洋司
(ゴードービジネスマシン(株) 部長)



1. 事業方針

- (1)協会の事業力強化と活性化を図るための諸施策を推進する。
- (2)会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。
- (3)社会貢献のための活動を推進する。

2. 事業計画

- (1)次の協会定例行事を企画・開催する。
 - 4月 通常総会後の講演会・懇親会
 - 1月 新年例会、講演会
 - 2月 社会貢献活動推進
- (2)行政、情報産業団体との交流。
- (3)社会貢献活動の推進。

1. 事業方針

- (1)委員会活動を通じて当協会の存在を広く世間にアピールする。
- (2)会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。

2. 事業計画

- (1)第25回サウンズコンテストの開催
従来の「純コンピュータ・ミュージック」を基本に、新しいコンピュータ・ミュージックのコンテストを検討していく。ITを利用して応募集客に工夫し、後援各社の報道により応募・集客を図る。又、大分フットボールクラブとの連携を深め夢のあるイベントとし、地域社会に貢献する。
- (2)第22回OISAボウリング大会の開催

企画委員会

委員長 佐藤 隆己
((株)APC 代表取締役)

副委員長 渡辺 五朗
(大交ソリューションズ(株) 部長)

事務局 山松 正樹
(大分交通(株) 次長)



研修委員会

委員長 大園 拓
(ソフトリンク(株)大分営業所取締役SI事業部長)

副委員長 工藤 英樹
((株)鶴崎海陸運輸(株)リーダー)

事務局 鈴木 淳一
(九州NSソリューションズ(株)プロフェッショナル)



1. 事業方針

委員会活動の充実と強化及び、会員相互の理解と協力をより一層深める事を目的とした諸施策を展開する。

2. 事業計画

- 先進地域ならびに先進企業への視察研修を実行する。
- 8月下旬～9月上旬 県外対象 (1泊2日)
 - 1月下旬～2月上旬 県内対象 (日帰り)

1. 事業方針

- (1)研修事業は協会会員企業の要望、必要性を十分に反映して行う。
- (2)開かれた協会活動に寄与する委員会活動を推進する。
- (3)他委員会との合議を積極的に進め、行政との連携も視野に委員会活動の活性化を図る。

2. 事業計画

- (1)計画の具体化には会員企業の意見を反映し、ニーズの高い研修内容を企画する。
- (2)企業の技術者向けに、専門技術あるいは先端技術に関する講座等を企画する。
- (3)十分な協力体制のもとに、地域に開かれた研修活動を企画する。
- (4)他、会員の要望に応じた事業を企画する。



技術委員会

委員長 田中 栄二
(大分ケーブルテレコム(株) 副本部長)

副委員長 谷口 泰生
((株)オーガス 課長)

副委員長 組橋 誠
(三井造船システム技研(株)大分事務所 課長)

事務局 伊達 慎二
((株)富士通九州システムズ 部長)

事務局 吉良 香奈子
((株)富士通九州システムズ)



広報委員会

委員長 河野 修一
((株)アトムス 取締役部長)

副委員長 堺井 常行
((学)KCS大分情報専門学校 校長)

事務局 田崎 貴裕
(大銀コンピュータサービス(株) 部長)



1. 事業方針

下記に関する活動を企画・実施し、情報社会への貢献を目指す。

- (1)最新技術動向に関する知識の普及。
- (2)ITに関する技術の向上。

2. 事業計画

- (1)技術交流会の開催
業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招き、技術交流会を開催する。
- (2)技術研究会の開催
会員が抱える共通の技術課題について技術研修会を開催する。
内容は、最新IT技術動向を十分意識し、これらの情報技術や開発方法等について研究し、成果発表会を行う。



1. 事業方針

協会活動の内外への広報事業を展開し、当協会全体の活性化を図る。

2. 事業計画

- (1)広報活動
OISAニュースの発行
年間3回、協会活動及び業界イメージアップに繋がる情報発信を行う。
・8月 総会特集・各委員会の事業計画
・1月 各委員会活動特集
・3月 新年例会・委員会活動特集
OISAニュースの継続発行、紙面の充実を図るとともに、行政諸機関及び諸学校へのOISAニュースを配布する。OISAニュースを利用して会員企業や社員紹介を行い業界イメージアップに協力する。
- (2)ホームページの利活用
広報委員会で協会情報やOISAニュース掲載の情報更新を行う。
各委員会開催行事の広報や開催結果をタイムリーにホームページに掲載し協会活動の推進に寄与する。

代表者交代のお知らせ

大分ケーブルテレコム(株)
(株)スリーエイ・システム
大交ソリューションズ(株)
ダイワボウ情報システム(株)大分支店
リコージャパン(株)九州事業本部大分支社

代表取締役社長 中谷 博之
代表取締役社長 河村 正直
代表取締役社長 吉田 宏
大分支店長 嘉本 光弘
大分支社長 藤村 邦雄

新任者紹介

〔総務委員会〕	三菱商事太陽(株)	開発課長	吉田 敏文
〔技術委員会〕	(株)三起電通	主任	田中 一光
〔研修委員会〕	なかつ情報通信開発センター(株)	課長	宇田川 現
	フューチャーインスペース(株)	サブリーダー	堀 寿弘
	コンピュータ・エンジニアリング(株)大分営業所	課長	山ノ浦寛史

平成28年度通常総会記念講演会

演 題：『大分から活力と夢を発信』
～地方創生へのステップアップ～

講 師：大分市長 佐藤 樹一郎 氏

日 時：平成28年4月20日(水)

場 所：全労済ソレイユ



みなさんこんにちは。
大分市長の佐藤です。

本日は、大分市がどのように市政に取り組んでいるかについてお話をさせていただきます。

現在、大分市の人口は48万人弱ですが、今も人口が増加している全国の中

中でも珍しい恵まれた自治体だと思います。これは、一つには産業の基盤が強固だからです。大分市は、九州の市町村の中で製造品出荷額が1位、全国でも11位です。特に、臨海部には新日鐵住金、内陸部には東芝やキャノンなどの大企業が立地し、さらに製造業を中心とした中小企業も数多くあり、産業の力が非常に強いのが大分の特徴です。

しかし、大分市も今後は少子高齢化の波を受けて人口が減少していくことが予想されています。2060年の大分市の人口は、現在より10万人減の37万人と予想されています。これを「大分市総合戦略」に基づき子育て支援策を充実させ出生率を高めることで、現在とほぼ同じ45万人ほどにしたいと考えています。大分市の合計特殊出生率は1.59で全国の平均よりも高い現状がありますが、このままでは自然と下がってしまいますので、最終的には、高度成長期の時の2.3程度にまで上げたいと考えています。

現在、本市の全人口に占める生産年齢人口（15～64歳）は約62%、老年人口（65歳～）は約24%ですが、2040年にはそれぞれ55%と34%になります。高齢化が進むことで老年人口が増え、同時に現役世代の負担が増えることとなります。そのため、意欲があり体力的にも問題がない高齢者には働いていただき、併せて女性が活躍できる社会にして出生率を上げる取り組みなども進めていかなければなりません。

大分市は、他の都市に比べて産業の力や財政基盤が強固ですが、平成28年度予算1,776億円のうち社会保障関係費が522億で、昨年度から27億円増えています。今後は、財政がさらに硬直化して政策的な投資経費が賄えなくなる可能性があることから、優先度を付けて必要なものから使っていくことが重要になります。

大分市のまちづくりにあたり、3つのキーワード「創造・連携・実行」を掲げています。

まず、「創造」には3つの観点があります。

1. 「誰もが安心して笑顔で暮らせる社会の創造」

大分市は基礎自治体として、市民に身近な課題に対応し、市民が安心して暮らせるよう行政サービスを提供していかなければなりません。そのためにも、高齢者や若い人

が安心して暮らせる社会を実現していきます。

「子育て支援」では、経済的な理由で出産を断念する方々が沢山いますので、保育料の軽減策を講じるとともに、「待機児童」に関しては、平成29年度末までに待機児童ゼロをめざして保育所の定員拡大に取り組んでいきます。

「子どもたちの教育」については、いじめや子どもの貧困問題等の解決を図るため、スクールソーシャルワーカーを増員します。退職した先生を派遣して、若い先生の指導をお願いする等の体制を整えながら、学力の向上にも取り組みます。

高齢者の方々には、健康寿命を延ばし、地域で活躍していただくとともに、障がい者の方々も生きがいを持って社会生活をしていただくことができるよう施策の充実を図ります。

「防災・減災対策」については、4月の熊本地震により大分でも非常に大きな揺れを観測しました。こうした自然災害に備えるために、自主防災組織ごとの地震・津波避難行動計画の策定などを進めます。

2. 「産業力の強化による活力の創造」

産業力の強化は、まちづくりを支える基盤であり、税収や雇用の確保のためにも重要です。

1966～2013年の製造品出荷額は、全国が8.6倍の伸びであるのに対し本市は43.6倍、人口は全国の伸びが1.3倍であるのに対し本市は24万人から47万人と2倍となりました。これは、新産業都市の指定により産業集積が進んだことが大きな要因ですが、近年は事業者数が減少傾向にあるため、製造業の力を維持することが非常に重要です。なかでも事業者数で見ると75%を占める中小企業が元気になるよう行政がしっかり支援することが大切であると考えています。

現在、本市では、設備投資や人材育成の支援に加え、販路拡大、知的財産権の取得の支援をしています。大分市ホームページに支援メニューを掲載していますので是非ご活用ください。

エネルギーの面では、新たな事業として、水素エネルギーの利活用を進めるための計画策定のほか、汚泥や生ごみ等のバイオマス資源の利活用方法についても検討しています。

農林水産業も大分市は有望であると考えており、「大葉」が西日本有数の生産量となっています。ガラスハウスの工場のような施設で水耕栽培を使い、温度・湿度・日照時間・CO₂の濃度を情報管理して生産しています。このように農林水産業を強化するためには、情報処理の技術がさらに重要になってくると思います。

3. 「次なる時代を見据えた新たな魅力の創造」

大分市は、多様で魅力的な資源を有しています。佐賀関の海星館からの豊後水道の眺めは素晴らしく、建設中の大分川ダムが完成すると観光資源になります。大分市は別府や湯布院に比べると観光面ではマイナーですが、食については「りゅうきゅう」や「とり天」など美味しいものがあります。こうした魅力をしっかりとアピールする観光戦略を近隣自治体と連携して展開していきます。

昨年の「JRおおいたシティ」等のオープン以来、中心市街地が賑わっていますが、今後は大分城址公園や大友氏遺跡の整備なども視野に入れながら、中心市街地のグラウンドデザインを描いていきたいと思っています。

交通につきましては、2040年代に東京と大阪がリニアによって1時間で繋がると、日本の3大都市である東京・名



古屋・大阪が一体となります。これらの都市と豊予海峡ルートで大分が繋がると人の流れが変わり、陸路で大分に入って各九州の都市に行くこととなります。そうすると大分が九州全体の玄関口、更にはアジアの玄関口となり、日本全体の発展に寄与すると思います。ただしコストが掛かりますので、費用対効果が示せるように調査を行うこととしています。

そして、これらの「3つの創造」を進めるため、あらゆる主体と「連携」していきます。まず、大分県と協議の上、パスポートの発行を大分市役所でできるようにしました。県立屋内スポーツ施設についても、県と連携して大銀ドームの隣に整備する計画です。大洲総合運動公園にある大分県立総合体育館は、大分市民にとって重要な施設と考え、ラグビーワールドカップの後に移譲を受けることとしました。

今後は、ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピックなどの世界的イベントの開催が控えています。県や関係自治体と連携しながら、日本に来た人に大分まで足を伸ばしていただくための取り組みを展開するとともに、ナショナルチームの事前キャンプ誘致にも取り組んでいきます。

「実行」については、本市の最上位計画である「大分市総合計画」をはじめ各種計画を着実に具現化していきます。また、中学校区単位で「ふれあい市長室」を開催し、市民の皆様の声を直接お聴きして、どんな課題を抱えているかを把握しているところです。昨年19回開催しましたが、「通学に使うトンネルが暗くて危険」「雨が降る度に家の裏山が心配」などの切実で生活に密着した課題を沢山伺いました。どうしたら解決することができるかを考え、緊急性の高いものから可能な限り実行したいと考えています。

今後も大分市の進むべき道筋をしっかりと見据え、市民の皆様と共に手を携えて、「創造」「連携」「実行」により「あたたかさ」と活力と夢があふれる大分市」の実現に取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

本日は、ご清聴いただき誠にありがとうございました。

(総務委員会)

第23回 OISA 研修委員会主催研修の実施について～現在企画～

今年度の研修は、本年4月に行ったアンケート結果を踏まえ、当協会会員のニーズの高い講座から2講座を実施する予定としています。

〈実施候補の講座について〉

現時点での予定ですので、今後、開催の関係で別の講座を選定する場合がございます。予めご了承ください。

・スケジュール管理研修

業務はスケジュール管理するだけでは計画通りに進めることができません。計画通りに業務を終わらせるためのタスク管理手法について実践を交えて学びます。

・プロジェクト管理研修

PMBOKをベースとして、プロジェクトとはそもそもどういったことを指し示すのか、理想的なプロジェクトを行うには何が必要なのかを学びます。プロジェクトマネージャーや、その候補者の方にお勧めです。

〈実施条件について〉

研修日数：参加しやすい1日コースで企画中です。 定員：15～18名 (MAX) 参加費：6,000円 (1名)

募集時期：11月開催を予定しています。なお、詳細は8月以降にお知らせいたします。

(研修委員会)

平成28年度技術研究部会実施

今年度の技術研究会の共同研究部会を以下の日程で開催しました。

日時：平成28年5月11日(水) 15:00～17:00 場所：富士通大分システムラボラトリ AVホール

内容：①機械学習部会 参加人数7名(3社、1大学)

テーマ「機械学習ライブラリを用いたモデル構築」

②子供向けプログラミング言語部会 参加人数5名(3社、1大学)

テーマ「子供向けプログラミング言語教育の現在の問題点と今後の展開について」

※成果発表会は平成28年12月14日(水)を予定しています。

(技術委員会)



主催：大分県情報サービス産業協会

コンピュータミュージック

第25回

サウンスコンテスト

ON THE COMPUTER

作品募集
応募締め切り

平成28年

12月25日 日

コンテスト
公開審査・結果発表

平成29年1月28日(土)
13:30~17:00

募集について 各部門、作曲はシーケンスソフトウェア(シーケンサー)等を使用

応募
無料

①フリー曲部門

- ①学生の部 } ●オリジナル曲
- ②一般の部 } ●アレンジ曲(編曲)

②応援歌部門

- ①大分トリニータの部(オリジナルで歌詞入り可)
- ②ふるさと応援歌の部(オリジナルで歌詞入り可・まつりやスポーツなど自由に可)

※曲のイメージ画像を受けつけます。

(本選発表時に使用。内容は自由ですが、当イベントにふさわしくない場合は相談の上、不使用になることをご了承下さい。)

申し込み

応募の要項に従ってお申し込み下さい。(チラシ裏面)

- 要項は下記ホームページからもダウンロードできます。
- 送付先/大分市下郡北1-2-12 ゴードービジネスマシン内 サウンスコンテスト係 TEL097-568-4600 FAX097-569-0121

後援

大分フットボールクラブ・日本文理大学・大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送
TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分・OCT大分ケーブルテレコム

協賛

大分フットボールクラブ・日本文理大学・Oita Sound Creator協会

QRコード



お問い合わせ 大分県情報サービス産業協会 コンテスト事務局
TEL097-568-4600 FAX097-569-0121 担当/大熊(ゴードービジネスマシン係)

<http://www.oisa.jp/sounds/>